

J R 東日本労働組合

N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2023年 2月 12日 No. 470

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

第10回青柳事故研修を開催しました

2月9日、中央東線青柳駅において「第10回青柳事故研修」が開催されました。当日は寒いながらも例年よりは暖かいなか、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら、松本支部青柳塾の仲間が中心となり研修を行いました。当日は「安全の碑」があった場所や跨線橋などでの概況説明、事故発生時刻の9:26に参加者全員での黙祷、金沢公民館での研修を行いました。



1998年2月9日の青柳事故から25年を迎えました。当時まだ入社していない社員が8割を超え、青柳事故自体をよく知らない、事故当時にはまだ生まれていない社員も増えてきました。運輸職場では「新たなジョブローテーション」により各職場の業務に精通したベテランが転勤し、過去の事故から生まれた安全に対する考動の伝承が危ぶまれています。また、「現業機関における柔軟な働き方」や「変革2027の実現に向けた組織の再編」などで各職場には今後の不安が渦巻いています。



「長野冬季オリンピックを成功させるために何でもあり」の状況下で青柳事故は発生し、一人の尊い命が失われました。組織の再編などで職場では「何でもあり」の状況になりつつあります。そんな今だからこそ二度と同じ事故を起こさせない、仲間や家族に二度と悲しい思いをさせないために私たちは「青柳事故」の教訓を伝えてきました。今後も一人でも多くの仲間に青柳の地に立ってもらい、実態を伝えて労働組合の立場から「命」と「安全」を守り続けていきます。

青柳事故から25年、事故を風化させず職場から「安全」をつくりだそう！